

## てがたんレポート Vol. 2 No. 8 (2005年8月：通巻17号)

★8月13日のてがたんは雨天のため中止しましたが、一週間前に行った予察の記録をレポートします。

★観察日時／天気：2005年8月6日（土）10:00～12:00／晴れ

★予察参加者：

- ・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：岡廣志、小野寺喜四郎、加藤文雄、小泉伸夫、米田洋斗、近藤貞彦、近藤尚志、首藤美恵子、弘貫さと子、古川克彌、安野昌彦
- ・鳥博：齊藤安行

テーマ：鳥の繁殖後換羽、  
トンボの仲間の観察

### 観察記録—みんなで観察した生き物リスト—

#### ★鳥

カワウ、カナダガン（外来種）、カルガモ、バリケン（家禽の放鳥）、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス

#### ★昆虫

・チョウ・ガの仲間

ベニシジミ、ヤマトシジミ、アゲハ、アオスジアゲハ（含む卵、幼虫、クスノキの葉に産卵）、ヒメアカタテハ幼虫（食草のヨモギの葉上）、オオスカシバ卵（クチナシの葉に産卵）

・ハチの仲間

キゴシジガバチ（泥で造巢中）、フタモンアシナガバチ

・トンボの仲間

ノシメトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ、アジアイトトンボ

・セミ・カメムシ・アメンボの仲間

アブラゼミ、ミンミンゼミ（声）、ニイニイゼミ（声）、カメムシの一種、アメンボの一種

・バッタ・コオロギ・カマキリの仲間

ショウリョウバッタ成虫、オンブバッタ、ヒシバッタ、イポバッタ成虫と幼虫、クルマバッタモドキ褐色型と緑色型、ノミバッタ、ハネナガヒシバッタ、エンマコオロギ幼虫、タンボコオロギ（声）、マダラスズ（声）、シバズ（声）、キンヒバリ（声）、カネタタキ幼虫（博物館内）

・コガネムシの仲間

マメコガネ

#### ★魚

メダカ、ヨシノボリ、ヌマチチブ（博物館で捕獲して確認したら二種混ざってました）

#### ★エビ・カニの仲間

エビの仲間（テナガエビ？、噴水展望台やや上流の手賀沼への排水口）

#### ★カエルの仲間

ニホンアマガエル、ウシガエル（声）、ウシガエル（幼体）

#### ★その他

・ミミズ（環形動物、水の館裏の田んぼ脇の水路の浅瀬の中）

#### ★咲いていた花

ポタンクサギ（植栽）、クチナシ（植栽）、ハルシャギク（植栽）、ヒマワリ（植栽）、オオキンケイソウ（植栽）、モミジバアオイ（植栽）、オオニシキソウ、コバノギボウシ（植栽？）、ヘクソカズラ、オヒシバ、メヒシバ、シマスズメノヒエ、イヌヒエ、ニワゼキショウ、ツユクサ、オモダカ、コナギ、アゼナ、イネ（栽培作物）、トキンソウ、ヒメムカシヨモギ、ヤブガラシ、トキワハゼ、カヤツリグサ

#### ★立ち止まって観察した植物

シャジクモ

\* リストの生き物の名前は順不同です

# 8月の観察アルバム

8/13日は、大雨のためてがたんは中止しました。  
8月6日の下見の時観察した生き物を  
並べてみました。

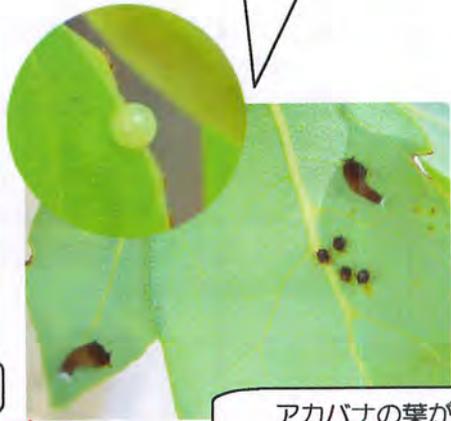
クスノキの葉に  
アオスジアゲハの  
卵と幼虫が・・・



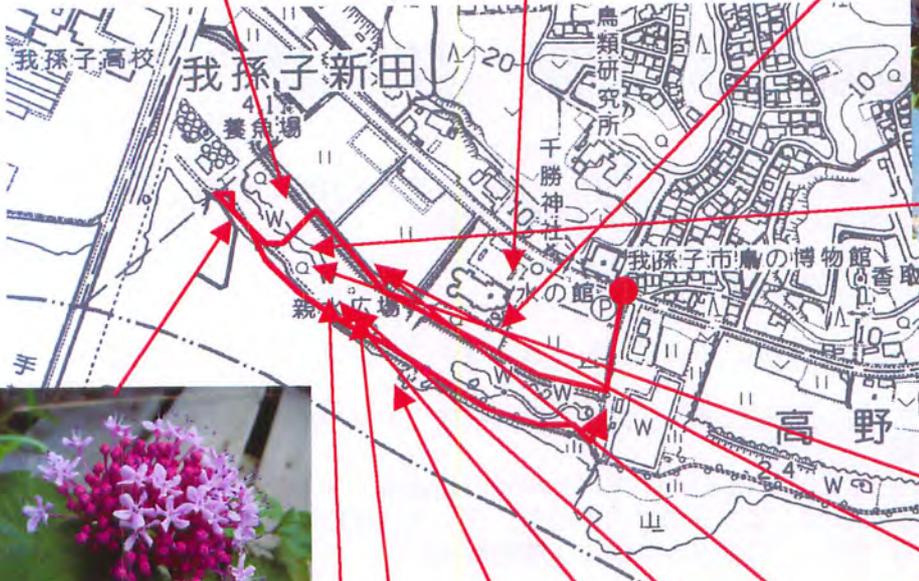
クサネム



オオミノガ



アカバナの葉が  
赤くなってました



ウシガエルの  
オタマジャクシ  
(この姿で冬を越す)



ポタンクサギの花は  
よい香りです



金色の種を吐き出す  
吐金草 (トキンソウ)



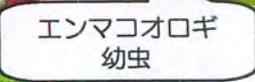
クチナシの葉に  
オオスカシバの卵が・・・



手賀沼で年中みられる  
夏留鴨 (カルガモ)



クルマバッタモ  
ドキ (緑色型)



エンマコオロギ  
幼虫



ヒシバッタ



金属光沢のある  
ノミバッタ